

1 退職者の会加入促進



今年度は、グループ連絡会の協力を得て、4局所で退職者の会への加入説明会を実施、団塊の世代の退職者もピークを過ぎたことから、昨年50名から35名と減少しています。

2 会員数



現在、会員数は昨年4月に新たに40名が加入、1,325人となりました。これまでは毎年増加してきましたが、今後は団塊の世代が過ぎ減少に転じます。したがって、財政面からも組織運営に影響が予想されます。

3 組織・・県支部協の役員



組織体制は会長・副会長・事務局・事務局次長・事務局員・顧問から構成する常任幹事、各地区の会長・地区幹事など総勢32名（内女性9名）が支部協の活動を支え、活動の中心的な役割を担っています。

4 組織活動

- 常任幹事会 (11名) 9回
 - 地区代表者会議 (18名) 6回
 - 幹事会 (32名) 4回
- 意思統一を図り、連携強化した



取り組みの節目に即応した常任幹事会、交流と活動の水平展開を図る地区代表者会議、活動の全体化を図る幹事会を開催しています。

5 5つの地区に分けて活動



また、支部協の下部組織として5つの地区（高松・小豆・東讃・中讃・西讃）に分け、各地区に会長・副会長・事務局次長・幹事で構成しています。そして活動も支部協から居住地のある地区活動が活性化するように努めています。

6 年度、総会、年会費

- 年度は、10月～翌年の9月
- 県支部協の総会は、10月
- 代議員制で (活動の報告、活動の方針、役員改選、規約の改正) を確認
- 各地区協の総会は、11～12月
- 全員参加制
- 年会費: 2,000円 (11月の電通共済掛金支払時)

沿革

- 1973年度(昭和48年)11/18 発会 第1回総会
- 1989年度(平成11年)11/12 NTT分組第1回総会(議案27題)

年度の区切りとなる総会には、地区協ごとに25人に1名の割り方で選出される代議員制。活動の総括と方針・会計・規約改正・役員改選などを確認。年会費は2000円、昨年はオークラホテル高松で開催しました。

7 主な活動

機関紙「さぬき遍路」を発行

- 1月号は郵送
- 他は手配り

白黒版 (3月, 6月, 9月, 11月) カラー版 (1月, 7月)

香川支部協の特徴的な活動として、機関紙の「手配り」活動があります。年6回定期発行し、内5回を県下99名の会員で95%の会員宅をカバーしています。そのとき会員への「声かけ運動」に心掛けています。

8 主な活動

■サークルをとおして、親睦・交流を深めています

申し込み

- ・サークル
- ・事務局へ

また、主な活動の一つにサークル活動があります。現在7サークルが、月1回～年2回程の定例活動をしており、時には現職や共闘との交流を進め、退職後も親睦を深めながら豊かな人生の一助としています。

9 主な活動

■バスツアーを実施

- ・春は、各地区協でレクを計画
- ・秋は、県支部協で1泊旅行を計画

実行委員会でご計画をしています

- ・西山 祐一 (西讃)
- ・大西 孝 (中讃)
- ・河本 光夫 (東讃)
- ・山下 文代 (高松)
- ・石川 正治 (高松)

2016年4月 平城遠征1300年築バスツアー

活動を可能な限り各地区協に移行しており、例えば秋の一泊バスツアーは支部協で実施し、春の日帰りバスツアーは各地区協に変更したことで、参加者が2倍に増えました。

10 香川独自の見舞い制度

- 住宅火災 全焼 2万円
 - " 半焼 1万円
 - " その他 5千円
-
- 住宅浸水 床上 1万円
 - " 床下 5千円



香川支部協独自の政策として二つあります。一つは火災と水害時の見舞い制度を三年前に設定しました。災害の少ない香川県ですが、近年台風や火災の被害が続いたり、細やかですが見舞い制度の必要性を感じました。

11 香川独自の祝い制度

- 「ありがとう」の事前通知・返信はかき 近況の機関紙掲載を要請する
- 「喜寿」と「米寿」の間・お元氣ですか訪問 中長期継続



もう一つは、「傘寿のお祝い」があります。これは共済の「ありがとう制度」の喜寿と米寿の間で死亡率が上がることから、80才の傘寿を迎える年に「お元氣ですか訪問」を設け、訪問して安否確認をするものです。

12 事務局は、分会事務所内に



- 常駐日は、「月・水・金」
電話は、087-821-7222
- それ以外の日は、
分会役員が応対します。

退職者の会の事務局は、NTT労組の事務所で居候住まいをしています。現役労組には物心両面で大変助けられています。常駐日は月・水・金で、不在時は現役さんにお問い合わせしたり、留守番電話を活用しています。

13 生活状況把握のため全会員宅を訪問 (2016年3~8月)

生活状況調査カード

氏名	生年月日		大正 昭和 年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生活状況	<input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 夫婦二人 <input type="checkbox"/> 親族と同居				
健康状況	<input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> まあまあ普通 <input type="checkbox"/> 病弱(病院通い) <input type="checkbox"/> デイサービス等				
連絡先	自宅	携帯 ()			
災害時における 会員以外への連絡先	名前 ()			続柄	
	電話 ()				
退職者の会へ 要望等があれば お書きください					

この調査カードは災害時等の連絡に使用します。

退職者の会 連絡カード

会員およびご家族の方へ

もしもの時は一報を!!

自然災害・共済事項の請求・会員の死亡など

NTT労組 退職者の会 香川県支部協議会

087-821-7222

退職者の会も年々高齢化が進み、例えば会員の死亡では家族葬も増え退職者の会での把握が数か月遅れることもあり、昨年の総会で対策が課題となりました。

そこで「もしもの時は一報を！」というステッカーを作り、全会員宅の訪問を行い「健康状況・一人暮らし」等、生活状況を把握し、万が一の災害時では安否確認に役立てようと、危機管理・双方向のコミュニケーションづくりの一環として取り組みました。